Press Release

報道関係各位

2026年11月19日

# クラダシ、「クラダシチャレンジ」の取り組み拡大に向け、地域滞在型プログラム「遊ぶ広報」に社員が参加 ～社員1名が福島県南相馬市で13泊14日のワーケーションを実施し、地域との新たな関わり方を模索～

株式会社クラダシ（本社：東京都品川区、代表取締役社長CEO：河村晃平、以下「クラダシ」）は、社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ（以下「クラチャレ」）」の取り組み拡大を検討すべく、株式会社石見銀山地域経営研究所（群言堂グループ）が運営する地域滞在型プログラム「遊ぶ広報」への社員参加を試験的に実施いたします。
今回はクラダシから社員1名が参加し、**2026年11月27日(金)から12月10日(木)までの13泊14日**、福島県南相馬市に滞在しながらワーケーションを行います。なお、本取り組みはクラダシ基金（※1）を活用して実施いたします。

■「遊ぶ広報」とは
「遊ぶ広報」は、地域での中長期滞在を支援するプログラムです。参加者は「まちの広報担当」として13泊14日、暮らすようにまちに滞在し、滞在中に心が動いた瞬間を7回以上SNSで発信することで、現地で利用したサービスに対して最大7万円の滞在補助を受けられます。滞在中には地域コーディネーターが案内する「暮らし体験ツアー」があり、人と場所がつながることで、関係人口の創出や移住・定住にもつながっています。
URL：https://asobu-koho.jp/

■取り組みの背景・目的
クラダシは、学生を日本各地の地域や農家へ派遣するクラチャレを通じて、収穫支援や現地での交流を行い、地域の関係人口の創出・拡大や魅力発信に取り組んできました。

このたび、クラチャレの取り組み拡大の検討と、社員の福利厚生の観点から、「遊ぶ広報」への社員参加を試験的に実施いたします。参加する社員は、平日は現地でリモートワークを行いながら、アテンドツアーや地域の方々との交流を通じて地域の魅力に触れ、SNSで発信いたします。
本取り組みの目的は以下の3点です。

- 地域との新しい関わり方の模索
  クラチャレの取り組み拡大に向けて、関係人口の創出につながる地域との新しい関わり方を、現地でプログラムに参加しながら学びます。

【本件に関するお問い合わせ】
広報担当：齋藤　pr@kuradashi.jp

- 地方創生への理解の深化
  2週間現地に滞在し、短期の訪問では得られない地域の課題や可能性を現場で掘り起こし、クラダシの知見として蓄積いたします。
- 福利厚生としての活用
  2週間のワーケーションを通じて日常とは異なる環境に身を置き、社員のリフレッシュや創造性の向上につなげてまいります。

今回、クラダシからは社員1名が「遊ぶ広報」に参加し、福島県南相馬市での活動に加わります。現地で得た気づきや地域の方々との交流の様子は、社員自身のSNSを通じて発信してまいります。

■今後の展開
クラダシは今回の試験実施で得た知見をもとに、クラチャレの取り組み拡大に向けて「遊ぶ広報」との連携を検討いたします。社員が継続的に参加できる仕組みづくりに加え、クラチャレと組み合わせた学生向けの地方創生人材育成プログラムなど、地域との新たな関わり方を創出し、持続的な地域活性化に貢献してまいります。

■「クラダシチャレンジ」とは
クラダシは、ミッションを「善いビジネスで 未来に実りを。」、ビジョンを「日本一のインパクト企業グループへ。」と掲げ 、世の中に山積するさまざまな社会課題を価値へと転換し、社会・環境・経済へ確かなインパクトをもたらす事業を展開しています。

フードロス削減が循環する「善い食事業」として、ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」を運営し、賞味期限が切迫した食品や季節商品、パッケージの汚れやキズ・自然災害による被害などが原因で、消費可能でありながら通常の流通ルートでの販売が困難な商品を買い取り、おトクに販売しています。また、その売り上げの一部でさまざまな社会貢献活動を支援しています。
さらに、クラダシが自ら社会貢献活動を行うために創設したクラダシ基金(※1)を活用して地方創生事業にも取り組んでおり、その取り組みの1つとして、社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」(※2)を実施しています。

クラチャレは、フードロス問題や地方創生に関心のある学生が日本各地の地域や農家を訪れ、作物の収穫支援や現地での交流を通じて一次産業や地域経済の活性化について考えるインターンシッププログラムです。
参加学生は担い手として未収穫の農作物を収穫し、フードロス削減に貢献しながら地域とつながる機会を得ます。クラチャレを通じて、地域の関係人口の創出・拡大や魅力発信を図るとともに、学生に実践的な学びの場を提供し、地域社会の持続的な発展を目指しています。また、参加学生の旅費や滞在費、食費等はクラダシ基金から拠出しており、2026年9月末時点で計79回開催しています。

※1 クラダシ基金とは:
クラダシ自らが社会貢献活動を行うために創設した基金で、「Kuradashi」における支援先の1つです。地方創生事業・フードバンク支援事業・教育事業・食のサステナビリティ研究会の社会貢献活動に充てられています。
※2 クラダシチャレンジについて:https://kuradashi.jp/pages/kurachalle

【本件に関するお問い合わせ】
広報担当:齋藤　pr@kuradashi.jp

■楽しいお買い物で、みんなトクするソーシャルグッドマーケット「**Kuradashi**」とは
Kuradashiは、楽しいお買い物で、みんなトクするソーシャルグッドマーケットです。
フードロス削減を目指し、まだ食べられるにもかかわらず捨てられてしまう可能性のある食品などを、おトクに販売しています。
さらに、売り上げの一部を環境保護・災害支援などに取り組むさまざまな社会貢献団体への寄付やクラダシ基金として活用し、SDGs17の目標を横断して支援しています。
楽しくておトクなお買い物が、社会に良いことにつながる。そんな、全く新しいソーシャルグッドマーケットを創出しています。
URL：https://www.kuradashi.jp/

■クラダシ **Impact**：利益を社会に巡らせる
自ら社会貢献活動を行う「クラダシ基金」を通じ、地方創生やフードバンク支援、教育支援など、利益の一部をさまざまな社会課題の解決へ還元していきます。https://corp.kuradashi.jp/impact/

■株式会社クラダシについて
代表者氏名：河村晃平
設立：2014年7月
本社所在地：〒141-0021 東京都品川区上大崎3丁目2-1 目黒センタービル 5F
URL：https://corp.kuradashi.jp/

【サービス紹介】
・ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」：https://www.kuradashi.jp/
・クラダシが自社で運営する「クラダシ基金」：https://www.kuradashi.jp/fund
・冷凍宅配弁当「Dr.つるかめキッチン」：https://tsurukame-kitchen.com/
・オンライン料理教室「La Table de SHIORI Online」：https://online.atelier-shiori.com/
・物流代行サービス：https://logistics-kuradashi.com/

【店舗一覧】
・Kuradashi店舗一覧：https://kuradashi.jp/pages/stores

【クラダシのインパクト】
・インパクトサイト：https://corp.kuradashi.jp/impact/
・Impact Report2026：https://speakerdeck.com/kuradashi/kura-dashi-impact-report-2026

**【2026年9月末時点の主な累計実績】**
・フードロス削減量：36,559トン ・経済効果：177億8,769万円
・CO2削減量 ：96,919t-CO2・支援総額：199,346,287円
――――――――――――――――――――
「Kuradashi」、「ソーシャルグッドマーケット」、「1.5次流通」、「もったいないを価値へ」は株式会社クラダシの登録商標です。

【本件に関するお問い合わせ】
広報担当：齋藤　pr@kuradashi.jp